

第 120 回
日本肺癌学会関西支部学術集会
プログラム・抄録集

会期 令和6年7月13日(土)

会場 和歌山ビッグ愛

会長 山本 信之
和歌山県立医科大学医学部
内科学第三講座（呼吸器内科・腫瘍内科） 教授

第121回日本肺癌学会関西支部学術集会 演題募集

第121回の関西支部学術集会を下記の要領で開催いたします。多数のご演題・ご参加をお願いいたします。

会 期：2025年3月1日（土） 9時より

会 場：京都経済センター

（〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78 番地 TEL 075-708-3333）

参加費：医師3,000円 メディカルスタッフ・初期研修医1,000円

〈演題応募〉

■要望演題：（予定）

1. サルベージ手術
2. 悪性縦隔腫瘍に対する治療
3. ICIを含む術前導入療法
4. 希少ドライバー遺伝子異常肺癌に対する標的治療
5. PD-L1陰性肺癌の治療

■一般演題：口演 又は 示説（予定）

■応募要領：演題登録はオンライン登録を予定しております。詳細はHPに掲載いたします。

- 1) 抄録は演題名、施設名、所属、演者名・共同演者名を含まず、400字以内です。
- 2) 演題応募の際は、演題登録画面より連絡先、電話番号、E-mailアドレスや応募カテゴリーの希望などの必要事項および抄録内容を入力し、登録して下さい。

演題登録期間（予定）：2024年10月23日（水）～ 11月27日（水）

ご 注 意：1) 抄録は雑誌「肺癌」に後日掲載されます。

2) 要望演題及び一般演題の採否、発表時間などについては会長にご一任ください。

第121回日本肺癌学会関西支部学術集会

会 長 井上 匡美

京都府立医科大学呼吸器外科学 教授

事務局長 下村 雅律

京都府立医科大学呼吸器外科学 准教授

《運営事務局》 株式会社JTB 西日本MICE事業部
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル6階
TEL：06-6210-5608（平日9：30～17：30）
E-mail：121haigan-kansai@jtb.com

会場アクセス

会場：和歌山ビッグ愛

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2

TEL: 073-435-5200

周辺地図



鉄道の場合

- 大阪・天王寺駅からJR阪和線で和歌山駅へ約55分
- 大阪・なんば駅から南海本線で和歌山市駅へ約55分
- 新大阪駅からJR特急で和歌山駅へ約60分（JR和歌山駅から徒歩約15分）
- 和歌山電鐵貴志川線をご利用の場合（田中口駅から徒歩約11分）

バスの場合

- 関西国際空港からリムジンバスでJR和歌山駅へ約40分
- JR和歌山駅から和歌山バスで北出島へ新手平経由海南藤白浜行き
又はマリーナシティ、又は医大病院行き約5分（JR和歌山駅から徒歩約15分）
※鳴滝団地行きを除く
- 南海和歌山市駅から和歌山バスで北出島へぶらくり丁・和歌山駅経由海南藤白浜行き、又はマリーナシティ、又は医大病院行き約20分

お車の場合

- 大阪方面から阪和自動車道で約60分
- 阪和自動車道・和歌山ICから約15分
- JR和歌山駅からタクシー利用で約10分
- 南海和歌山市駅からタクシー利用で約20分

《シャトルバスのご案内は次ページをご覧ください。》

シャトルバス運行のご案内

JR和歌山駅（東口）～ビッグ愛（北口）間を、下記の時間で運行いたします。

運行区間：JR和歌山駅（東口）～ビッグ愛（北口）

乗車定員：1台あたり45名程度

所要時間：約15～20分

※道路状況により運行が遅延する場合がございます。また、満席の場合はご乗車いただけませんので、お時間には余裕をもってご利用ください。

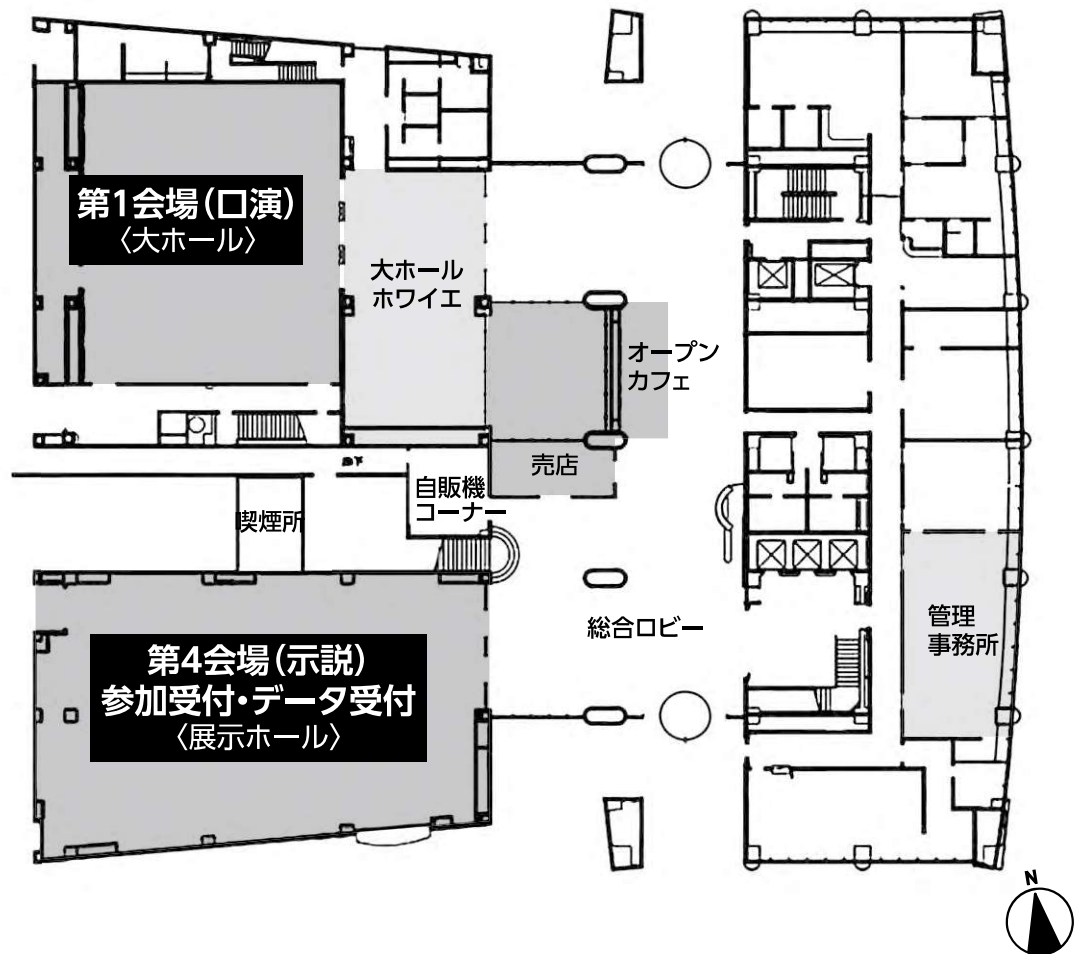
シャトルバス時刻表			
JR和歌山駅（東口）		和歌山ビッグ愛（北口）	
着	発	着	発
—	8：30	8：45	8：50
9：05	9：10	9：25	9：30
9：45	9：50	10：05	10：10
10：25	10：30	10：45	10：50
11：05	11：10	11：25	11：30
11：45	11：50	12：05	12：10
12：25	12：30	12：45	12：50
13：05	—	—	—
13：55	14：00	14：15	14：20
14：35	14：40	14：55	15：00
15：15	—	—	—
15：20	15：25	15：40	15：45
16：00	16：05	16：25	16：30
16：50	—	—	17：30
17：50	—	—	—

会場案内図

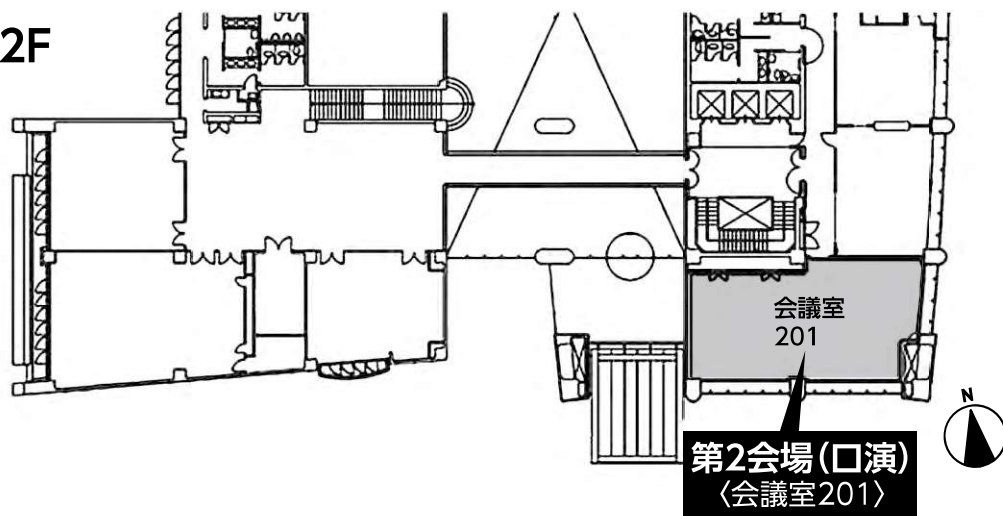
会館北口

■ 1F

シャトルバス乗降場所

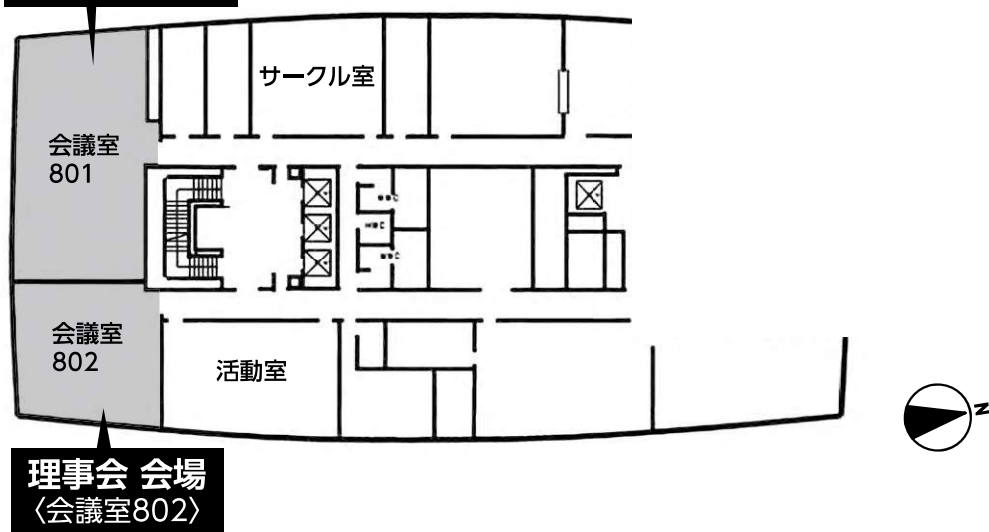


■2F



■8F

第3会場(口演)
〈会議室801〉



参加者へのご案内

1. 参加費

学会当日、参加受付（1F/展示ホール）にて参加費をお支払いいただき、参加証をお受け取りください。参加受付は8:30より開始します。なお、当日は現金のみの受付とさせていただきますので、ご準備をお願いいたします。

区分	参加費
医師	3,000円（不課税）
初期研修医・メディカルスタッフ・企業	1,000円（不課税）

2. プログラム・抄録集

関西支部会員の方には事前にプログラム・抄録集を送付いたしますので、必ずご持参ください。当日会場で1,000円（課税）にて販売いたしますが、部数に限りがございます。

3. クローク

クロークはありません。

4. 和歌山フリー Wi-Fiのご案内

(1) サービス提供場所

ビッグ愛館内

※場所や時間によっては電波が届きにくく、回線速度が遅くなるなどつながりにくい場合がありますのでご了承ください。

※60分ごとに更新（再接続）が必要となります。

(2) 利用可能時間

ビッグ愛 開館時間内

(3) SSID名称

WAKAYAMA_FREE_Wi-Fi_LONG

(4) 利用方法

サービス利用登録・Wi-Fi接続機器の設定のマニュアルはQRコードからご覧ください。

QRコードが読み取れない場合は和歌山ビッグ愛のウェブサイトからアクセスしてください。

県民交流プラザ・和歌山ビッグ愛 ウェブサイト

URL：<http://www.wakayamasposhin.or.jp/big-ai/>

TOP > 各種サービスのお知らせ > Wi-Fiフリースポット・サービス提供のお知らせ
「Wi-Fi接続機器の設定方法」



5. 優秀演題発表

17:20より第1会場（1F/大ホール）にて優秀演題を発表・表彰しますので、多数ご出席ください。

6. 理事会

10:30～11:00（8F/会議室802）

出席対象：理事・監事

7. 評議員会および総会

13：30～14：00に第1会場（1F/大ホール）にて開催いたします。評議員および会員の方はご出席ください。

8. 開催事務局

会 長 山本 信之 和歌山県立医科大学医学部 内科学第三講座
（呼吸器内科・腫瘍内科） 教授

事務局長 赤松 弘朗 和歌山県立医科大学医学部 内科学第三講座
（呼吸器内科・腫瘍内科） 准教授

9. 運営事務局

株式会社JTB 西日本MICE事業部
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル6階
TEL：06-6210-5608（平日9：30～17：30）
E-mail：120haigan-kansai@jtb.com

座長・発表者へのご案内

1. 発表時間

下記の発表時間をお守りいただき、座長の指示に従ってご発表をお願いいたします。

セッション	発表時間
ランチョンセミナー	60分（質疑応答含む）
学術セミナー	
International Symposium	発表25分・討論5分
一般演題（口演・示説）	発表6分・討論2分

2. 抄 録

すでに提出された抄録は学会誌『肺癌』に掲載します。抄録の事前訂正は受付いたしません。訂正をご希望の方は学会当日、参加受付（1F/展示ホール）にプリントアウト2部（座長用・事務局用）をご提出いただいたうえで、Wordファイルをメール添付にて運営事務局（120haigan-kansai@jtb.com）までご提出ください。抄録は演題名、施設名、所属、演者名、共同演者名を含め400字以内です。

3. 利益相反の開示について

全ての発表の筆頭演者は、発表時における利益相反事項の自己申告が必要です。開示方法や詳細はP.11をご参照ください。

4. 口演発表の方へ

- (1) ご発表の30分前までに、データ受付（1F/展示ホール）にて試写およびデータをご提出ください。発表データは完成版のみお持ちください。データ受付は8:30より開始します。
- (2) PowerPoint（Windows版）で作成したデータをCD-RおよびUSBメモリー、あるいはPCにてご持参ください。なお、主催者側で用意するPCのOSはWindows 10で、PowerPointのバージョンはMicrosoft PowerPoint 2016/2021で、スクリーンは16:9のワイドサイズです。

※動画が含まれる場合はPC本体のお持ち込みを強くおすすめいたします。音声は受け付けられません。

※Macintoshで作成されたデータについては、ご自身のPCをお持ち込みください。

※PCをお持ち込みになる場合は、PCに付属のACアダプタを必ずご持参ください。

※会場で用意するPCケーブルコネクタの形状はHDMIです。この形状に合ったPCをご使用ください。

また、この形状に変換するコネクタを必要とする場合は必ずご自身でお持ちください。

5. 示説発表について

(1) 示説セッションスケジュール

下記のスケジュールで示説セッションを実施します。

9:00～10:00	ポスター貼付
15:00～15:32	示説発表
16:30～17:30	ポスター撤去

※ポスターは16:30まで外さないようお願いいたします。なお、撤去時間を過ぎても貼付されているポスターは事務局にて破棄処分いたしますので、ご了承ください。

※顕微鏡の用意はありません。

(2) ポスターパネル概要

示説会場には、図のようなパネルが設置してあります。

パネルのサイズ：縦200cm×横120cm
左上の演題番号（縦20cm×横20cm）は事務局にて貼付しておきます。

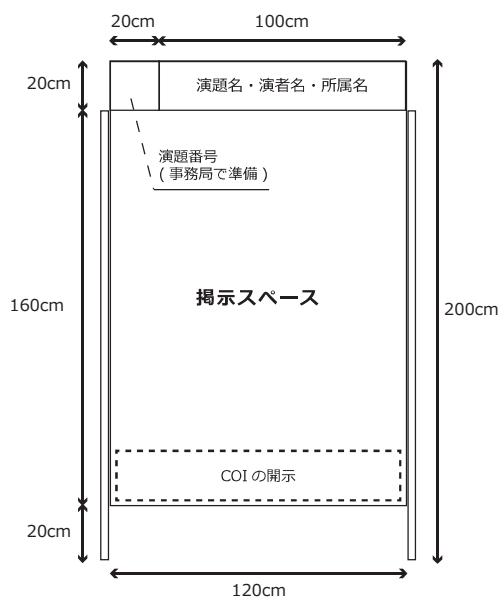
掲示用のピンは事務局でご用意いたします。セロハンテープ、接着剤、マジックテープは使用できませんのでご注意ください。

下記の資料は、発表者において作成・準備し、貼付してください。

1. 演題名・演者名・所属名
（縦20cm×横100cm）

2. ポスター（縦160cm×横120cm）

※下から20cmは貼付しないようお願いします。



筆頭発表者ならびに研究責任者の利益相反の開示について

学術集会における臨床研究に関する発表演題での公明性を確保するため、演題の筆頭発表者、並びに研究責任者は、それぞれ自己について、利益相反事項を必ず申告してください。演題発表時には、スライドへの記載が必要となります。開示フォームPowerPointは、日本肺癌学会HPよりダウンロードいただけます。

日本肺癌学会HP「肺癌学会について > 利益相反規程」

https://www.haigan.gr.jp/modules/about/index.php?content_id=13

※口演の場合はスライド2枚目で、示説の場合はポスター掲示の最後で開示してください。

※利益相反【なし】の場合も必ず【なし】として記載してください。

学術集会での発表に際しての個人情報開示項目

(2021年1月1日から2023年12月31日までの分についての開示をしてください)

I. 個人の利益相反記載事項

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無
1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上の場合、当該団体名
2. 株の保有
1つの企業からの配当利益等が年間100万円以上、あるいは当該全株式の5%以上を所有する場合、当該企業名
3. 企業や営利を目的とした団体からの特許権使用料
1つの権利使用料が年間100万円以上の場合、当該企業名
4. 企業や営利を目的とした団体から、会議の出席（発表）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）
1つの企業・団体からの講演料が年間50万円以上の場合、当該企業名
5. 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料
1つの企業・団体からの原稿料が年間50万円以上の場合、当該企業名
6. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費
1つの企業・団体からの研究費が年間100万円以上の場合、当該企業名
7. 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄付金
1つの企業・団体からの寄付金が年間100万円以上の場合、当該企業名
8. 企業などが提供する寄付講座
企業・組織や団体が提供する寄附講座に申告者らが所属している場合、当該団体名
9. その他の報酬（研究とは直接無関係な、旅行、贈答品など）
1つの企業・団体からの贈答品などが総額5万円以上の場合、当該企業名

II. 研究発表の場合は以下を併記する

当該研究の資金源と研究代表者（資金提供を受けた者）

例) ○○財団「○○癌に対する集学的治療研究○○事業」研究代表者 ○○
厚生労働科学研究費「○○に関する○○補助研究事業」 研究代表者 ○○
受託研究「○○に関する臨床研究」○○株式会社 研究代表者 ○○

■利益相反についてのお問合せ先

ご不明な点があれば、以下にメールでお問い合わせください。その際には、タイトルに「利益相反について」と記してください。

特定非営利活動法人 日本肺癌学会事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-8-16 ぶよビル4階

E-mail: office@haigan.gr.jp

学会進行予定表

	第1会場（口演） 1F/大ホール	第2会場（口演） 2F/会議室201	第3会場（口演） 8F/会議室801	第4会場（示説） 1F/展示ホール
8:30				
9:00	開会の辞（8:55-9:00）			
9:30	学術セミナー1（9:00-10:00） 『IV 期非小細胞肺癌治療においてイミフィンジ+イジブド+化学療法に期待する役割』 座長：杉田 孝和 演者：金田 裕靖 共催：アストラゼネカ株式会社	【要望演題】超高齢者・併存症を有する患者に対する免疫チェックポイント阻害剤 (9:00-9:40) No. 1～5 座長：赤松 弘朗 若手向けアワードセッション (9:40-10:04) No. 6～8 座長：西野 和美	【要望演題】稀少ドライバー変異の診断・治療 BRAF・MET (9:00-9:32) No. 30～33 座長：藤阪 保仁 【要望演題】稀少ドライバー変異の診断・治療 HER2・ROSI (9:32-10:12) No. 34～38 座長：秦 明登	ポスター貼付 (9:00-10:00)
10:00	学術セミナー2（10:05-11:05） 『続・イビニボル君へ！』 座長：木島 貴志 演者：田宮 基裕 共催：小野薬品工業株式会社／ プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社	第3回 JACS-NEXT 近畿症例検討会（10:05-11:05） 座長：土井 健史 井口 豪人 アドバイザー： 平井 慶充 演者：徳田 涼介 原 幹太郎	【要望演題】稀少ドライバー変異の診断・治療 その他 (10:12-10:44) No. 39～42 座長：佐藤 悠城	【会場：8F/会議室 802】 理事会 (10:30-11:00)
10:30				
11:00				
11:30	International Symposium (11:10-12:10) 『Advances in lung cancer treatment highlight importance of early phase drug development -global trends and future perspectives-』 Chair：Toshio Shimizu, Junko Tanizaki Speaker：Daniel Shao-Weng Tan Toshio Shimizu		外科療法（1） (11:10-11:34) No. 43～45 座長：馬庭 知弘 外科療法（2） (11:34-11:58) No. 46～48 座長：濱田 顕	
12:00				
12:30	ランチョンセミナー1（12:20-13:20） 座長：光富 徹哉 『MET exon14skipping 変異に対するタブレクタ錠の有効性』 演者：金田 裕靖 『MET 阻害剤の浮腫との付き合い方』 演者：國政 啓 共催：ノバルティス ファーマ株式会社	ランチョンセミナー2（12:20-13:20） 『一次治療で免疫療法を選ぶKEY POINT は？』 座長：林 秀敏 演者：田宮 朗裕 共催：MSD 株式会社	ランチョンセミナー3（12:20-13:20） 『EGFR mutation 陽性に関する最新 Topics / RELAY レジメンの副作用マネジメントと多職種連携』 座長：赤松 弘朗 演者：田宮 基裕 佐藤 悠城 共催：日本イーライリリー株式会社	
13:00				
13:30	評議員会および総会 (13:30-14:00)			
14:00				
14:30	学術セミナー3（14:10-15:10） 『高齢者に対する Chemo+IO：誰に？何を？どのように？』 座長：阪森 優一 演者：赤松 弘朗 共催：中外製薬株式会社	【要望演題】irAE 管理の工夫 (14:10-14:42) No. 9～12 座長：金田 裕靖 【要望演題】進展型小細胞肺癌の長期生存例（1） (14:42-15:06) No. 13～15 座長：栗林 康造	外科療法（3） (14:10-14:34) No. 49～51 座長：平井 慶充 免疫療法 (14:34-15:06) No. 52～55 座長：中邨 亮太	
15:00				
15:30	学術セミナー4（15:15-16:15） 『切除不能肺扁平上皮癌に対する薬物療法～免疫療法全盛時代における抗体薬の立ち位置～』 座長：林 秀敏 演者：川村 卓久 共催：日本化薬株式会社	【要望演題】進展型小細胞肺癌の長期生存例（2） (15:06-15:38) No. 16～19 座長：吉岡 弘鎮 【要望演題】術前 ICI 療法の成果や工夫 (15:38-16:10) No. 20～23 座長：高濱 隆幸	治療関連有害事象 (15:06-15:38) No. 56～59 座長：武田 真幸 合併症 (15:38-16:02) No. 60～62 座長：阪森 優一 病理（1） (16:02-16:34) No. 63～66 座長：蔦 幸治	示説 (15:00-15:32) No. 71～74 座長：石川 将史
16:00				
16:30	学術セミナー5（16:20-17:20） 『HER2 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の治療戦略』 座長：武田 真幸 演者：谷崎 潤子 共催：第一三共株式会社	新規バイオマーカー (16:18-16:42) No. 24～26 座長：國政 啓 放射線療法 (16:42-17:06) No. 27～29 座長：澁谷 景子	病理（2） (16:34-17:06) No. 67～70 座長：安原裕美子	ポスター撤去 (16:30-17:30)
17:00				
17:30	優秀演題の表彰・閉会の辞 (17:20-17:30)			

第1会場

開会の辞

8:55 ~ 9:00

会長 山本 信之
和歌山県立医科大学医学部 内科学第三講座（呼吸器内科・腫瘍内科）

学術セミナー 1

9:00 ~ 10:00

座長 杉田 孝和
日本赤十字社和歌山医療センター 腫瘍内科 がんセンター

『IV期非小細胞肺癌治療においてイミフィンジ+イジユド+化学療法に期待する役割』

金田 裕靖

大阪公立大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学

共催：アストラゼネカ株式会社

学術セミナー 2

10:05 ~ 11:05

座長 木島 貴志
兵庫医科大学 医学部 呼吸器・血液内科学

『続・イピニボル君へ！』

田宮 基裕

大阪国際がんセンター 呼吸器内科

共催：小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

International Symposium

**Advances in lung cancer treatment highlight importance of early phase
drug development -global trends and future perspectives-**

11:10 ~ 12:10

Chair Toshio Shimizu
Professor, WMU Cancer Center, Wakayama Medical University Hospital
Associate Professor, Department of Pulmonary Medicine and Medical Oncology,
Wakayama Medical University Graduate School of Medicine, Wakayama, Japan

Junko Tanizaki
Associate Professor (Lecturer), Department of Medical Oncology,
Kindai University, Faculty of Medicine, Osaka, Japan

“Elucidating the evolutionary drivers of resistance to kinase inhibitors”

Daniel Shao-Weng Tan

Senior Consultant, Division of Medical Oncology, National Cancer Centre Singapore
Associate Professor, Vice Chair, Research in Clinical Trials & Epidemiological Sciences,
Oncology Academic Clinical Programme, Duke-NUS Medical School, Singapore

“Novel early phase drug development for solid tumors and current situation in
Japan – Trends of antibody-drug conjugates and bispecific antibodies”

Toshio Shimizu

Professor, WMU Cancer Center, Wakayama Medical University Hospital
Associate Professor, Department of Pulmonary Medicine and Medical Oncology,
Wakayama Medical University Graduate School of Medicine, Wakayama Japan

ランチョンセミナー 1

12:20 ～ 13:20

座長 光富 徹哉
和泉市立総合医療センター / 近畿大学医学部

『MET exon14skipping変異に対するタプレクタ錠の有効性』

金田 裕靖
大阪公立大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学

『MET阻害剤の浮腫との付き合い方』

國政 啓
大阪国際がんセンター 呼吸器内科

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

評議員会および総会

13:30 ～ 14:00

学術セミナー 3

14:10 ～ 15:10

座長 阪森 優一
日本赤十字社和歌山医療センター 呼吸器内科

『高齢者に対するChemo+IO：誰に？何を？どのように？』

赤松 弘朗
和歌山県立医科大学医学部 内科学第三講座（呼吸器内科・腫瘍内科）

共催：中外製薬株式会社

学術セミナー 4

15:15 ～ 16:15

座長 林 秀敏
近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門

『切除不能肺扁平上皮癌に対する薬物療法～免疫療法全盛時代における抗体薬の立ち位置～』

川村 卓久
大阪国際がんセンター 呼吸器内科

共催：日本化薬株式会社

学術セミナー 5

16:20 ～ 17:20

座長 武田 真幸
奈良県立医科大学 がんゲノム・腫瘍内科学講座

『HER2遺伝子変異陽性非小細胞肺癌の治療戦略』

谷崎 潤子
近畿大学医学部内科学教室 腫瘍内科部門

共催：第一三共株式会社

優秀演題の表彰・閉会の辞

17:20 ～ 17:30

会長 山本 信之
和歌山県立医科大学医学部 内科学第三講座（呼吸器内科・腫瘍内科）

第2会場

【要望演題】超高齢者・併存症を有する患者に対する免疫チェックポイント阻害剤

9:00～9:40

座長 赤松 弘朗

和歌山県立医科大学医学部 内科学第三講座（呼吸器内科・腫瘍内科）

1. HIV感染合併非小細胞肺癌に対して免疫チェックポイント阻害薬2剤併用複合免疫療法を施行した1例

兵庫医科大学病院 医学部 呼吸器・血液内科学

○河村 直樹、東山 友樹、近藤 孝憲、藤岡 毅、
村上 美沙、森下 実咲、徳田 麻佑子

同 呼吸器・血液内科学、同 胸部腫瘍学特定講座

高橋 良、多田 陽郎、柊木 芳樹、堀尾 大介、
大搦 泰一郎、藤本 大智、三上 浩司、南 俊行、
栗林 康造、木島 貴志

2. 超高齢者悪性胸膜中皮腫患者に対するイピリムマブ＋ニボルマブの使用経験

兵庫医科大学病院 呼吸器・血液内科学 ○神取 恭史、森 麻子、加藤 瑞貴、村田 卓嗣、
太田 博章、近藤 孝憲、清田 穰太郎、東山 友樹、
徳田 麻佑子、多田 陽郎

同 呼吸器・血液内科学、同 胸部腫瘍学特定講座

大搦 泰一郎、柊木 芳樹、堀尾 大介、藤本 大智、
三上 浩司、高橋 良、南 俊行、栗林 康造、
木島 貴志

3. 85歳以上の超高齢者でICIが奏効した非小細胞肺癌の2例

兵庫医科大学医学部 呼吸器・血液内科学 ○太田 博章、森 麻子、加藤 瑞貴、村田 卓嗣、
神取 恭史、近藤 孝憲、清田 穰太郎、東山 友樹、
徳田 麻佑子、多田 陽郎

同 呼吸器・血液内科学、同 胸部腫瘍学特定講座

大搦 泰一郎、柊木 芳樹、堀尾 大介、藤本 大智、
三上 浩司、高橋 良、南 俊行、栗林 康造、木島 貴志

4. 大阪府がん登録レジストリーデータベースを用いた超高齢者肺癌における免疫療法の実態

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 ○田中 庸弘、國政 啓、宮崎 暁人、田宮 基裕、
井上 貴子、川村 卓久、二村 俊、小牟田 清英、
西野 和美

5. 当院における80歳以上の超高齢者非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の有効性および安全性の後方視的検討

石切生喜病院 呼吸器内科 ○吉本 直樹、石川 遼馬、上野 健太郎、引石 惇仁、
中濱 賢治、谷 恵利子、南 謙一、平田 一人

同 呼吸器腫瘍内科 平島 智徳

若手向けアワードセッション ※奨励賞対象

9:40 ~ 10:04

座長 西野 和美
大阪国際がんセンター 呼吸器内科

6. 術前画像でPart-solid tumorと診断された肺多形癌の切除例

大阪国際がんセンター 呼吸器外科 ○小林 政雄、力石 尚也、鮫島 弘陸、堀口 寿里安、
神崎 隆、馬庭 知弘、岡見 次郎
同 病理細胞診断科 里見 英俊、本間 圭一郎

7. 同一肺葉内にMALTリンパ腫と子宮頸癌肺転移を伴った原発性肺腺癌の一切除例

京都大学医学部附属病院 呼吸器外科 ○西野 嘉紘、西川 滋人、梁 泰基、松本 瞭、松原 太一、
坂之上 一朗、栢分 秀直、住友 亮太、田中 里奈、
豊 洋次郎、中島 大輔、毛受 暁史、伊達 洋至
同 放射線診断科 坂本 亮
同 病理診断科 大槻 真也、辻 賢太郎

8. 中縦隔原発と考えられたHigh-grade neuroendocrine carcinomaの1例

大阪府済生会吹田病院 臨床研修センター ○蟻本 亜美
同 呼吸器内科 岡田 あすか、飯塚 正徳、藤原 隆徳、佐藤 いずみ、
乾 佑輔、上田 将秀、茨木 敬博、美藤 文貴、
竹中 英昭、長 澄人

第3回JACS-NEXT近畿 症例検討会

10:05 ~ 11:05

座長 土井 健史
神戸大学 大学院医学研究科 外科学講座・呼吸器外科学分野
井口 豪人
公立那賀病院 乳腺呼吸器外科
アドバイザー 平井 慶充
和歌山県立医科大学 外科学第一講座

『右胸膜肺全摘術後に発症した無症候性心臓脱：血圧低下の前兆』

○徳田 涼介、岡垣 志歩、池部 智之
市立福知山市民病院

『肺癌精査中に発症したITP合併肺癌の周術期管理』

○原 幹太郎、泉 信博、月岡 卓馬、井上 英俊、鈴木 智詞、谷村 卓哉、木下 広敬、
岸本 和也、安川 知宏、宗 淳一
大阪公立大学医学部附属病院 呼吸器外科

ランチョンセミナー 2

12:20 ~ 13:20

座長 林 秀敏
近畿大学医学部 内科学教室腫瘍内科部門

『一次治療で免疫療法を選ぶKEY POINTは？』

田宮 朗裕
近畿中央呼吸器センター 腫瘍内科

共催：MSD株式会社

【要望演題】irAE管理の工夫

14:10 ~ 14:42

座長 金田 裕靖
大阪公立大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学

9. トシリズマブが化学療法+抗PD-L1抗体+抗CTLA-4抗体治療によるステロイドパルス療法無効のサイトカイン放出症候群（CRS）に対して有効であった非小細胞肺癌の2症例
神戸低侵襲がん医療センター 呼吸器腫瘍内科

○山本 賢、平野 克也、島田 天美子、秦 明登

10. 当院における免疫関連有害事象対策チーム「imNET」の活動について

近畿大学病院 薬剤部 ○藤原 季美子

近畿大学医学部 腫瘍内科 高濱 隆幸、磯本 晃佑、渡邊 諭美、稲垣 千晶、
三谷 誠一郎、谷崎 潤子、吉田 健史、田中 薫、
川上 尚人、岩朝 勤、米阪 仁雄、林 秀敏

同 消化器内科 萩原 智

同 呼吸器アレルギー内科 西山 理

同 脳神経内科 桑原 基

近畿大学病院 医療安全対策部、同 看護部 柳江 正嗣

同 看護部 遠藤 みゆき、竹久 志穂、高橋 直美

11. 当院で免疫チェックポイント阻害薬投与後にirAE心筋炎を発症し、心筋生検を施行した非小細胞肺癌9例のケースシリーズ研究

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 ○宮崎 暁人、小牟田 清英、二村 俊、田中 庸弘、
川村 卓久、國政 啓、井上 貴子、田宮 基裕、
西野 和美

12. Carboplatin (CA) + nab-paclitaxel (nPAC) + pembrolizumab (PEMB) 療法でirAEとしての多発関節炎を来すも寛解し、3年間CR維持している肺扁平上皮癌の一例

宝塚市立病院 呼吸器内科・腫瘍内科 ○渡辺 康平、片上 信之、朝岡 拓哉、河村 直樹、
藤岡 毅、西村 駿、発 忠信、吉積 悠子、岡本 忠司、
高瀬 直人

【要望演題】進展型小細胞肺がんの長期生存例（1）

14:42 ~ 15:06

座長 栗林 康造
兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学

13. 複合免疫療法により3年以上の無増悪生存期間を得た進展型小細胞肺癌の2症例

公立那賀病院 呼吸器内科 ○春谷 勇平、金井 一修、北原 大幹、垣 貴大、
土橋 友紀子

14. 免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法により2年以上奏効した進展型小細胞肺癌症例の検討

神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科 ○榎本 隆則、桂田 直子、羽間 大祐、山本 正嗣、
立原 素子

同 病理診断科 神保 直江

15. TMB high 進展期小細胞肺癌に対してPembrolizumab単剤により18ヶ月以上、完全寛解が維持できている一例

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 ○小牟田 清英、國政 啓、田宮 基裕、井上 貴子、
川村 卓久、宮崎 暁人、二村 俊、田中 庸弘、
西野 和美

【要望演題】進展型小細胞肺がんの長期生存例（2）

15:06 ～ 15:38

座長 吉岡 弘鎮
関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座

16. 進展型小細胞肺癌に対してカルボプラチン・エトポシド併用療法により5年以上の長期奏効が得られた2例

神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科 ○藤田 友佳、山本 正嗣、羽間 大祐、桂田 直子、
立原 素子

17. 化学放射線療法後の局所再発に対して免疫療法を継続しつつ救済手術を行った小細胞肺癌の一例
神戸低侵襲がん医療センター 呼吸器腫瘍内科

○秦 明登、磯和 賢秀、山本 賢、平野 勝也、
島田 天美子

18. 複数回のプラチナリチャレンジと局所照射の追加でAtezolizumabを4年以上継続している高齢進展型小細胞肺癌の一例

神戸低侵襲がん医療センター 呼吸器腫瘍内科

○平野 克也、山本 賢、島田 天美子、秦 明登

19. 進展型小細胞肺がんの長期生存例3例の検討

兵庫医科大学 医学部 呼吸器・血液内科学

○森 麻子、近藤 孝憲、加藤 瑞貴、村田 卓嗣、
太田 博章、神取 恭史、清田 穰太郎、徳田 麻佑子、
東山 友樹、多田 陽郎、祢木 芳樹、堀尾 大介

同 呼吸器・血液内科学、同 胸部腫瘍特定講座

三上 浩司、藤本 大智、大搦 泰一郎、高橋 良、
南 俊行、栗林 康造、木島 貴志

【要望演題】術前ICI療法の成果や工夫

15:38 ～ 16:10

座長 高濱 隆幸
近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門

20. 当院におけるIII期非小細胞肺癌に対する術前免疫療法の成績について

石切生喜病院 呼吸器内科 ○中濱 賢治、石川 遼馬、上野 健太郎、引石 惇仁、
谷 恵利子、吉本 直樹、南 謙一、平田 一人

同 呼吸器腫瘍内科 平島 智徳

同 呼吸器外科 藤井 祥貴、西田 達

21. 術前ICI併用化学療法が奏功し完全切除しえた非小細胞肺癌3例の経験

大阪公立大学 呼吸器外科 ○井上 英俊、泉 信博、月岡 卓馬、原 幹太郎、
鈴木 智詞、谷村 卓也、木下 広敬、岸本 和也、
安川 知宏、宗 淳一

22. 高位胸壁浸潤肺癌に対し術前免疫チェックポイント阻害剤併用療法が奏効し小開胸のみで完全切除しえた1例

和歌山県立医科大学 外科学第一講座 ○中谷 升一、平井 慶充、矢田 由美、房本 安矢、
井口 豪人、西村 好晴

同 人体病理学講座 小島 史好

同 内科学第三講座 赤松 弘明

23. 術前化学療法として施行した化学療法+Nivolumab併用療法後にpathological CR (pCR) を認めた2症例の検討

宝塚市立病院 呼吸器内科・腫瘍内科 ○藤岡 毅、渡辺 康平、朝岡 拓哉、河村 直樹、西村 駿、
登 忠信、吉積 悠子、岡本 忠司、高瀬 直人、
片上 信之
同 呼吸器外科 中道 徹、長谷川 誠紀
同 病理診断科 松尾 祥平

新規バイオマーカー

16:18 ~ 16:42

座長 國政 啓
大阪国際がんセンター 呼吸器内科

24. 非小細胞肺癌患者における血小板遺伝子発現の腫瘍環境の影響とMRDモニタリングへの応用

近畿大学医学部 ゲノム生物学 ○西尾 和人、坂井 和子
同 呼吸器外科 小原 秀太、須田 健一、津谷 康大、光富 徹哉

25. 姑息照射とドセタキセルが抗腫瘍効果を示したThoracic SMARCA4-deficient undifferentiated tumorの1例

大阪公立大学大学院医学研究科 臨床腫瘍学 ○谷 陽子、金田 裕靖、岡 隆子
同 呼吸器内科学 水谷 萌、杉本 亮、長嶺 宏明、松本 吉矢、山田 一宏、
渡辺 徹也
同 診断病理・病理病態学 田中 さやか、孝橋 賢一
同 臨床腫瘍学、同 呼吸器内科学 川口 知哉

26. 化学放射線療法とDurvalumab維持療法により長期奏効が得られているSMARCA4欠損非小細胞肺癌の1例

奈良県立医科大学 呼吸器内科学講座 ○水野 雄貴、谷村 和哉、市村 善太、中村 真弥、
堀本 和秀、古山 達大、佐藤 一郎、古高 心、
岩佐 佑美、新田 祐子、春成 加奈子、宮高 泰匡、
坂口 和宏、長 敬翁、山本 佳史、本津 茂人、室 繁郎
同 呼吸器内科学講座、同 がんゲノム・腫瘍内科学講座
大田 正秀
同 呼吸器内科学講座、奈良県立医科大学附属病院 栄養管理部
藤田 幸男
同 呼吸器内科学講座、同 医学部看護学科 臨床病態医学
山内 基雄

放射線療法

16:42 ~ 17:06

座長 澁谷 景子
大阪公立大学医学部附属病院 放射線治療科

27. 脳転移を有する再発非小細胞肺癌に対して免疫療法中に定位放射線照射の晩期障害として放射線脳壊死を来した1例

関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座、松阪市民病院 呼吸器センター

○中西 健太郎

関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座 吉岡 弘鎮、永田 裕太郎、藤井 一起、奥野 祐希子、
上裕 敬介、吉田 清里、生駒 龍興、竹安 優貴、
山中 雄太、勝島 詩恵、倉田 宝保

松阪市民病院 呼吸器センター 畑地 治

28. 肺癌脳転移に対する放射線治療によるリンパ球減少

近畿大学 放射線腫瘍学部門 ○石田 奈緒子、松尾 幸憲、福田 隼己、立野 沙織、
植原 拓也、稲田 正浩、土井 啓至、中松 清志、
細野 眞

29. 副腎oligometastasesに対するMR画像誘導定位放射線治療の初期報告

大阪公立大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学

○井口 治男、阪上 茉衣、山岸 睦美、澁谷 景子

第3会場

【要望演題】 稀少ドライバー変異の診断・治療 BRAF・MET

9:00～9:32

座長 藤阪 保仁

大阪医科薬科大学医学部 内科学講座腫瘍内科学

30. 多発骨格筋転移を認めたBRAF V600E陽性肺腺癌の一例
兵庫医科大学 医学部・呼吸器・血液内科学 ○東山 友樹、村上 美沙、河村 直樹、近藤 孝憲、
藤岡 毅、徳田 麻祐子、多田 陽郎、堀尾 大介、
柊木 芳樹、藤本 大智
同 呼吸器・血液内科学、同 胸部腫瘍学特定講座
高橋 良、大槌 泰一郎、三上 浩司、南 俊行、
栗林 康造、木島 貴志
31. 甲状腺乳頭癌の扁平上皮癌転化が疑われたBRAF V600E陽性肺扁平上皮癌の一例
神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科
○笹田 剛史、佐藤 悠城、白川 千種、齊藤 正一郎、
庵坂 学外、鶴井 佐栄子、伊部 匡晃、貴志 亮太、
古田 勝之、平林 亮介、永田 一真、中川 淳、
富井 啓介、立川 良
同 病理診断科 山下 大祐
32. テポチニブまたはカプマチニブに獲得耐性を示したMET遺伝子エクソン14変異陽性非小細胞肺癌患者に対するカボザチニブを用いた非盲検第二相試験（医師主導治験）
奈良県立医科大学 がんゲノム・腫瘍内科 ○武田 真幸、大田 正秀
九州大学病院 呼吸器科 岩間 映二
仙台厚生病院 呼吸器内科 菅原 俊一
順天堂大学医学部附属順天堂医院 呼吸器内科
宿谷 威仁
国立がん研究センター東病院 呼吸器内科 梅村 茂樹
新潟県立がんセンター新潟病院 内科 田中 洋史
名古屋医療センター 呼吸器内科 沖 昌英
近畿大学病院 腫瘍内科 高濱 隆幸
広島大学病院 呼吸器内科 益田 武
愛媛大学医学部付属病院 呼吸器内科 野上 尚之
山口大学医学部 統計学分野 下川 元継
33. ドライバー遺伝子陰性としてフォローされていた非小細胞肺癌患者において、遺伝子パネル検査によりMET exon 14 skipping変異が検出され治療につながった1症例
近畿大学 医学部内科学教室腫瘍内科部門、近畿大学病院 ゲノム医療センター
○高濱 隆幸、米阪 仁雄
近畿大学 医学部内科学教室腫瘍内科部門 金村 宙昌、谷崎 潤子、田中 薫、林 秀敏
近畿大学病院 ゲノム医療センター、同 臨床研究センター
福岡 和也
同 ゲノム医療センター、同 がんセンター 中川 和彦

【要望演題】 稀少ドライバー変異の診断・治療 HER2・ROS1

9:32 ~ 10:12

座長 秦 明登

神戸低侵襲がん医療センター 呼吸器腫瘍内科

34. 他科連携によって児娩出後速やかに全身化学療法が実施できた妊娠中期に合併したHER2遺伝子変異陽性進行期肺腺癌の一例

京都府立医科大学 大学院医学研究科呼吸器内科学

○中谷 悠、河内 勇人、片山 勇輝、西岡 直哉、
森本 健司、岩破 将博、徳田 深作、山田 忠明、
高山 浩一

同 大学院医学研究科産婦人科学 岩井 未帆、藁谷 深洋子

35. HER2遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対するトラスツズマブ・デルクステカンの使用経験

近畿大学医学部 内科学腫瘍内科部門 ○土肥 和佳、谷崎 潤子、大倉 将生、金村 宙昌、
高濱 隆幸、田中 薫、林 秀敏

36. PS2の既治療HER2陽性進行肺腺癌に対してトラスツズマブ・デルクステカンが著効した一例

和歌山県立医科大学 内科学第三講座 ○西尾 和真、根来 和宏、赤松 弘朗、北原 大幹、
永井 隆寛、鷺岡 篤司、村上 恵理子、柴木 亮太、
杉本 武哉、早田 敦志、清水 俊雄、中西 正典

同 内科学第三講座、同 バイオメディカルサイエンスセンター

洪 泰浩、山本 信之

37. エントレクチニブ投与後に腫瘍増大を認めたROS1融合遺伝子陽性肺腺癌に対してクリゾチニブが奏功した1例

関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座 ○上裕 敬介、吉岡 弘鎮、永田 裕太郎、藤井 一起、
奥野 祐希子、吉田 清里、竹安 優貴、勝島 詩恵、
山中 雄太、倉田 宝保

関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座、関西医科大学付属病院がんセンター

生駒 龍興

38. エントレクチニブ投与後にクレアチニン上昇を認めたROS1融合遺伝子陽性肺腺癌の1例

関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座 ○田中 舞奈、竹安 優貴、永田 裕太郎、藤井 一起、
奥野 祐希子、吉田 清里、生駒 龍興、勝島 詩恵、
山中 雄太、吉岡 弘鎮、倉田 宝保

【要望演題】 稀少ドライバー変異の診断・治療 その他

10:12 ~ 10:44

座長 佐藤 悠城

神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科

39. LabベースのPCR検査で確認し得たSQSTM1-NTRK融合肺腺がんの一切除例

近畿大学 医学部 外科学教室 呼吸器外科部門 ○小畑 慶子、須田 健一、深見 朋世、小原 秀太、
濱田 顕、伊藤 正興、千葉 真人、下治 正樹、
武本 智樹、宗 淳一、光富 徹哉、津谷 康大

近畿大学病院 ゲノム医療センター 白石 直樹

40. NRG1融合遺伝子肺癌の臨床病理像について

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 ○二村 俊、國政 啓、田宮 基裕、井上 貴子、川村 卓久、
宮崎 暁人、田中 庸弘、小牟田 清英、西野 和美

同 病理・細胞診断科 本間 圭一郎

41. ローラチニブ投与後に中枢神経障害を認めたALK融合遺伝子陽性肺腺癌の1例
関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座 ○賀嶋 隆人、竹安 優貴、永田 裕太郎、藤井 一起、
奥野 祐希子、吉田 清里、生駒 龍興、勝島 詩恵、
山中 雄太、吉岡 弘鎮、倉田 宝保
42. ALK融合遺伝子変異陽性の進行再発非小細胞肺癌に対する治療の有効性と治療シーケンスの検討
大阪刀根山医療センター 呼吸器腫瘍内科 ○赤澤 結貴、三橋 靖大、西島 良介、矢野 幸洋、
森 雅秀、内田 純二

外科療法 (1)

11:10 ~ 11:34

座長 馬庭 知弘
大阪国際がんセンター 呼吸器外科

43. 内視鏡的マイクロ波凝固療法にて無気肺を解除した気管支脂肪腫の一例
南和歌山医療センター 呼吸器科 ○高瀬 衣里、鷺岡 篤司、中口 恵太
同 胸部・心臓血管外科 川後 光正
同 病理診断科 北市 正則
44. 高度気道狭窄に対してECMOを導入し気管ステントを留置した一例
京都府立医科大学 呼吸器外科 ○北村 彩恵、下村 雅律、岡田 悟、古谷 竜男、
松浦 吉晃、西井 真知子、川西 凜太郎、中川 拓水、
井上 匡美
45. 低肺機能患者の右上葉切除後に発生した中葉無気肺に対して、気管支鏡による中葉への送気と呼吸法の工夫が奏功した一例
近畿中央呼吸器センター 外科 ○井口 貴文、鮫島 弘睦、小島 健介、徳永 俊照、
尹 亨彦

外科療法 (2)

11:34 ~ 11:58

座長 濱田 顕
近畿大学 医学部外科学教室呼吸器外科部門

46. 導入同時化学放射線療法と肺全摘術で16年間無再発生存中のc-T3N2M0肺腺癌と自験例の検討
ベルランド総合病院 呼吸器外科 ○岡部 和倫、今本 皓介、木下 広敬、古河 奈央、
小松 弘明
47. 切除不能非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬治療後のサルベージ手術の安全性と予後に関する検討
京都大学医学部附属病院 呼吸器外科 ○松本 瞭、住友 亮太、坂之上 一郎、栢分 秀直、
西川 滋人、田中 里奈、豊 洋次郎、中島 大輔、
毛受 暁史、伊達 洋至
48. 局所進行肺癌に対するSalvage手術の検討
神戸大学大学院医学研究科 外科学講座呼吸器外科分野
○田根 慎也、土井 健史、小川 裕行、法華 大助、
田中 雄悟、眞庭 謙昌

ランチョンセミナー 3 EGFR mutation陽性に関する最新Topics/RELAYレジ メンの副作用マネジメントと多職種連携

12:20 ~ 13:20

座長 赤松 弘朗
和歌山県立医科大学 呼吸器内科・腫瘍内科

『EGFR mutation陽性に関する最新Topics』

田宮 基裕
大阪国際がんセンター 呼吸器内科

『RELAYレジメンの副作用マネジメントと多職種連携』

佐藤 悠城
神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科

共催：日本イーライリリー株式会社

外科療法 (3)

14:10 ~ 14:34

座長 平井 慶充
和歌山県立医科大学 外科学第1講座

49. 縦隔発生滑膜肉腫の1切除例

神戸大学附属病院 外科学講座・呼吸器外科学分野

○宇野 友規、田根 慎也、土井 健史、小川 裕行、
法華 大助、田中 雄悟、神保 直江

50. 65年前に胸骨横断両側開胸術で心室中隔欠損修復術を受けた患者に発生した肺腺癌の1切除例

神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器外科、京都大学 呼吸器外科

○栢分 秀直

神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器外科

高山 昌和、宗田 桃子、山田 徹、浜川 博司、高橋 豊

51. 肺静脈内に急速進展を認めた肺癌の1切除例

兵庫医科大学 呼吸器外科 ○福田 章浩、竹ヶ原 京志郎、中村 晃史、黒田 鮎美、
橋本 昌樹、松本 成司、近藤 展行、舟木 壮一郎

免疫療法

14:34 ~ 15:06

座長 中邨 亮太
京都府立医科大学 呼吸器内科

52. 免疫治療完全奏功後の二度の孤発転移に対し放射線治療を併用し長期完全奏功を維持している右悪 性胸膜中皮腫の一例

関西労災病院 呼吸器外科 ○戸田 道仁、伊藤 龍一、鈴木 智詞、谷村 卓哉、
山本 亜弥、岩田 隆

53. 複合免疫療法中の局所再発に対して外科的切除を行い長期寛解が得られた非小細胞肺癌の一例

京都府立医科大学 呼吸器内科 ○中邨 亮太、片山 勇輝、西岡 直哉、森本 健司、
岩破 将博、徳田 深作、山田 忠明、高山 浩一

54. Pembrolizumabによる好酸球性肺炎の1例
社会医療法人 神鋼記念病院 呼吸器センター

○久米 佐知枝、高田 陽平、宇野 将真、今尾 舞、
難波 晃平、藤本 佑樹、稲尾 崇、門田 和也、
大塚 浩二郎、鈴木 雄二郎、笠井 由隆、榊屋 大輝
同 病理診断科 大林 千穂

55. 進行・再発非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害薬の長期奏効例の臨床的特徴
近畿大学 医学部内科学教室腫瘍内科部門 ○金村 宙昌、土肥 和佳、鈴木 慎一郎、谷崎 潤子、
高濱 隆幸、田中 薫、岩朝 勤、米阪 仁雄、林 秀敏

治療関連有害事象

15:06 ~ 15:38

座長 武田 真幸
奈良県立医科大学 がんゲノム・腫瘍内科

56. EGFR遺伝子変異を有する稀な非小細胞肺癌に対してEGFR-TKI投与中にたこつぼ型心筋症が生じた2症例

大阪急性期・総合医療センター 呼吸器内科 ○田中 智、横田 健斗、吉村 信明、飛田 哲志、矢賀 元、
上野 清伸
同 心臓内科 八木 涼太

57. オシメルチニブの導入早期にRadiation recall pneumonitisの発症を認めた肺腺癌の1例

国立病院機構和歌山病院 呼吸器内科 ○村上 裕亮、園田 健留、佐々木 誠悟、小暮 美和子、
川邊 和美、小野 英也、南方 良章
和歌山県立医科大学 呼吸器内科・腫瘍内科 加藤 真衣

58. エルロチニブ治療中に大腸憩室炎・膵炎をきたし腓仮性嚢胞を形成した一例

橋本市民病院 呼吸器内科 ○田中 将規、駿田 直俊、高倉 敏彰
同 消化器内科 岩橋 優美

59. 悪性胸膜中皮腫に対するニボルマブ＋イピリムマブ併用療法中に様々な免疫関連有害事象を発症した1例

日本赤十字社和歌山医療センター 呼吸器内科
○濱田 健太郎、河内 寛明、矢本 真子、深尾 あかり、
阪森 優一、寺下 聡、渡邊 創、池上 達義、杉田 孝和

合併症

15:38 ~ 16:02

座長 阪森 優一
日本赤十字社和歌山医療センター 呼吸器内科

60. RS3PE症候群を合併した微小浸潤性肺腺癌の1切除例

大阪市立総合医療センター 呼吸器外科 ○中嶋 隆、山本 悟、上野 彩帆、東山 智彦、丁 奎光、
水口 真二郎

61. 胸腺癌治療中に胸膜中皮腫の合併を確認した一例

和歌山労災病院 呼吸器内科 ○前部屋 賢、庄野 剛史、辰田 仁美、細 隆信

62. Carboplatin+weekly Paclitaxel+Bevacizumabにて2年CRを維持しているIPF合併の縦隔型肺腺癌の一例

宝塚市立病院 呼吸器内科・腫瘍内科 ○朝岡 拓哉、片上 信之、渡辺 康平、河村 直樹、
藤岡 毅、西村 駿、発 忠信、吉積 悠子、岡本 忠司、
高瀬 直人

病理 (1)

16:02 ~ 16:34

座長 蔦 幸治
関西医科大学 病理

63. 当院の孤立性線維性腫瘍の外科的切除後の治療経過と病理学的所見の検討

大阪医科薬科大学 外科学講座 胸部外科学教室

○石原 宏弥、森田 琢郎、進藤 友喜、豊原 功侍、
武田 翔、文元 聰志、市橋 良夫、越智 薫、佐藤 澄、
花岡 伸治、勝間田 敬弘

64. 胸腔内病変のみを呈したRosai-Dorfman病の一例

公立那賀病院 乳腺呼吸器外科 ○井口 豪人、中西 仁美、中村 理恵、平井 一成
和歌山県立医科大学 外科学第一講座 平井 慶充

65. Neuroendocrine tumorを伴うGerm cell tumor with somatic-type malignancyの1例

京都府立医科大学附属病院 呼吸器外科学 ○西村 友樹、下村 雅律、岡田 悟、古谷 竜男、
中園 千晶、北村 彩恵、高橋 京聖、花房 沙貴、
井上 匡美
同 人体病理学 森永 友紀子、宮川 文

66. 経過中に自然縮小した壊死性胸腺腫の1例

大阪大学医学部附属病院 呼吸器外科 ○徳永 拓也、大瀬 尚子、木村 賢二、福井 絵里子、
木村 亨、狩野 孝、新谷 康
同 呼吸器外科、同 病理診断科 永田 秀樹
同 病理診断科 森井 英一

病理 (2)

16:34 ~ 17:06

座長 安原 裕美子
堺市立総合医療センター 病理診断科

67. 肺扁平上皮癌から腺癌への形質転換を認めた病理解剖症例

大阪医科薬科大学病院 呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科、大阪医科薬科大学 腫瘍内科学教室

○満屋 奨、石川 翔一、船本 智哉、藤阪 保仁

大阪医科薬科大学病院 呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科

鶴岡 健二郎、垣内 俊祐、由良 成、土田 滯、
新井 将弘、島津 保之、松永 仁綜、中村 敬彦、
田村 洋輔、池田 宗一郎
同 臨床研究センター 辻 博行

68. KRAS G12C阻害薬投与後に小細胞肺癌へ形質転化したKRAS G12C陽性非小細胞肺癌の一例
和歌山県立医科大学 内科学第三講座 ○中口 恵太、柴木 亮太、赤松 弘朗、西尾 和真、
櫻井 可南子、根來 和宏、上田 亮太、宮井 優、
加藤 真衣、大西 美帆子、古田 勝之、村上 恵理子、
杉本 武哉、早田 敦志、清水 俊雄、洪 泰浩、
中西 正典、山本 信之
同 人体病理学講座 小島 好史
69. 術前に原発性肺癌を疑われていた前立腺癌肺転移の一例
大阪刀根山医療センター 呼吸器外科 ○平岩 七望、大和 寛幸、大倉 英司、竹内 幸康、
奥村 明之進
同 病理診断科 山寺 みさき
70. 外科的肺生検にて診断し化学療法を施行した心臓血管肉腫、肺多発転移の1例
紀南病院 内科 ○吉松 弘晃、芝 みちる、竹中 雅子、早川 佳奈、
早川 隆洋
ひだか病院 第2内科 太田 敬之
公立那賀病院 内科 中野 好生
大阪国際がんセンター 腫瘍内科 坂井 大介

第4会場

示説

15:00 ～ 15:32

座長 石川 将史
日本赤十字社和歌山医療センター 呼吸器外科

71. コロイド腺癌の1切除例

和歌山県立医科大学 外科学第1講座 ○房本 安矢、平井 慶充、矢田 由美、井口 豪人、
中谷 升一、西村 好晴

72. 術式に悩んだ若年者の多発intrapulmonary solitary fibrous tumorの一例

和歌山県立医科大学 外科学第一講座 ○矢田 由美、平井 慶充、中谷 升一、房本 安矢、
西村 好晴

73. 口唇に転移再発をきたした肺腺癌の一例

大阪刀根山医療センター 呼吸器腫瘍内科 ○三橋 靖大、西島 良介、赤澤 結貴、矢野 幸洋、
内田 純二、森 雅秀
大阪大学医学部付属病院 皮膚科 種村 篤

74. 前縦隔 濾胞樹状細胞肉腫follicular dendritic cell sarcoma 術後局所再発の1手術例

関西医科大学 呼吸器外科学講座 ○福元 健人、齊藤 朋人、内海 貴博、丸 夏未、小林 晶、
松井 浩史、谷口 洋平、日野 春秋、村川 知弘
同 放射線科学講座、ハイメディッククリニック WEST
本多 修
関西医科大学 病理学講座 蔦 幸治